⑶　退職給付に関連する損益（研究・育種勘定）

（単位：円）

区　　分	当　　期 （自　令和７年４月１日 至　令和８年３月31日）
簡便法で計算した退職給付費用	700,631,324

⑷　退職給付債務の期首残高と期末残高（水源林勘定、森林保険勘定及び特定地域整備等勘定）

（単位：円）

区　　分	当　　期 （自　令和７年４月１日 至　令和８年３月31日）
退職給付債務の期首残高	3,024,584,942
勤務費用	143,480,297
利息費用	24,339,379
数理計算上の差異の当期発生額	△　388,251,324
退職給付の支払額	△　137,796,747
期末における退職給付債務	2,666,356,547

⑸　退職給付債務に関する事項（水源林勘定、森林保険勘定及び特定地域整備等勘定）

（単位：円）

区　　分		当　期　末 （令和８年３月31日現在）
退職給付債務	(A)	2,666,356,547
未認識数理計算上の差異	(B)	△　362,860,311
未認識過去勤務費用	(C)	△　309,918,534
退職給付引当金	(A)－(B)－(C)	3,339,135,392

⑹　退職給付費用に関する事項（水源林勘定、森林保険勘定及び特定地域整備等勘定）

（単位：円）

区　　分	当　　期 （自　令和７年４月１日 至　令和８年３月31日）
勤務費用	143,480,297
利息費用	24,339,379
数理計算上の差異の費用処理額	△　46,346
過去勤務費用の費用処理額	△　39,017,131
退職給付費用	128,756,199

⑺　退職給付債務等の計算に関する事項

①割引率（単一の加重平均割引率）　2.70％

②退職給付見込額の期間配分方法　期間定額基準

③過去勤務費用の費用処理年数　12年

（平均残存勤務期間内の12年間をもって、発生時から定額法により費用処理を行っております。）

④数理計算上の差異の処理年数　12年

（平均残存勤務期間内の12年間をもって、発生翌年度以降定額法により費用処理を行っております。）

（固定資産の減損関係）

⑴　減損の兆候が認められたが、減損を認識しなかった固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

区分	種　　類	場　　所	帳簿価額	用　　途
①	建物	茨城県つくば市	1	貯木施設附属ポンプ室（Ｂ７）
②	建物	茨城県つくば市	1	第１水耕硝子室（Ｂ20）
	建物付属設備	〃	9	下水（Ｂ20）他
③	建物	茨城県つくば市	1	第２水耕硝子室（Ｂ21）
	建物付属設備	〃	9	下水（Ｂ21）　他
④	建物	茨城県つくば市	1	昆虫温室（Ｂ32）
	建物付属設備	〃	10	ガス装置（Ｂ32）　他
⑤	建物	茨城県かすみがうら市	1	樹病温室（Ｂ35）
	建物付属設備	〃	12	ガス装置（Ｂ35）　他
⑥	建物	茨城県かすみがうら市	1,016,008	土壌平面ライシメーター測定室（Ａ２）
	建物付属設備	〃	291,813	実験設備（Ａ２）　他
⑦	建物	茨城県かすみがうら市	1,672,004	防災ライシメーター測定室（Ａ３）
	建物付属設備	〃	349,610	実験設備（Ａ３）　他
⑧	建物	茨城県かすみがうら市	1,850,000	土壌斜面ライシメーター測定室（Ａ４）
	建物付属設備	〃	762,006	実験設備（Ａ４）　他
⑨	水源林	東北北海道整備局管内	7,360,196,856	水源涵養等公益的機能の発揮
		関東整備局管内	4,309,765,328	〃
		中部整備局管内	2,174,648,025	〃